

平成30年度第8回沼田市教育委員会会議録

1 期日

平成30年11月20日（火）

2 場所

中央公民館学習相談室

3 出席者

大竹孝夫教育長、星野貴昭委員、平形昇委員、中村俊生委員

4 沼田市教育委員会会議規則第19条第3号による出席者の職・氏名

坂田誠二教育部長、藤井隆庶務課長、富田孝学校教育課長、平井通晃社会教育課長、小池雅典文化財保護課長、川田正樹スポーツ振興課長、鶴淵佳秀庶務課長補佐

5 開会宣言（午後1時30分）

6 日程第1 会期の決定

会期は、11月20日の一日と決定

7 日程第2 会議録署名委員の指名

教育長が中村俊生委員を指名

8 日程第3 議案第12号 沼田市給食センター運営委員会委員の委嘱について

庶務課長が議案書添付資料により説明

（中村委員）

学識経験者の市職労委員長の交代によるものとのことだが、代わった理由は特にあるのか。

（庶務課長）

定期大会により代わったものであり、特に理由はない。

異議なく原案のとおり決定

9 日程第4 議案第13号 平成30年度沼田市社会教育功労者の決定について

社会教育課長が議案書添付資料により説明

(平形委員)

今年度は団体からの推薦のみだが、個人で頑張っている人もいるので、団体に属していない人を表彰してあげる方法はあるのか。

(社会教育課長)

過去には、団体に属していない人を表彰したこともある。個人で頑張っている人の情報があれば、今後、情報提供をお願いしたい。

(中村委員)

団体によって人数が違うが、各団体で枠は決まっているのか。

(社会教育課長)

各団体の枠としての人数は決まっていない。例年、団体が集まり協議して各団体の人数を決めている。

異議なく原案のとおり決定

10 日程第5 教育長報告

(教育長)

スポーツの秋、文化の秋ということで様々な行事が目白押しの中、委員の皆様には積極的に参加をいただき、また、激励をいただき感謝申し上げます。

今月の3日、子ども議会が開催されたが、小学生、中学生、一昨年から高校生も参加するようになった。どの子どもたちも、本来の議員に勝るとも劣らないような内容であり、しっかりとした態度であった。沼田市の将来を考えた質問をいただき、有難いと感じた。18日には伝統芸能発表会が開催された。子どもたちが伝統芸能を教えてもらい、しっかり練習をして発表するという、まさに次世代への文化の継承を目の当たりにした。

今後、22日には教育水準向上研究授業研究会が薄根小、池田中、利根中で開催される。23日には利根沼田ロードレース大会が白沢で開催される。寒い中ではあるが、委員にお世話になりたい。

事務局では、現在、予算編成事務等次年度に向けて準備をしているところであり、教職員人事については、各校長とのヒアリングを実施しているところである。今後も各行事において、委員の皆様のご協力をお願いしたい。

(教育部長)

なし

(庶務課長)

- ・12月の主な行事予定について
- ・学校への冷房設備設置のサウンディングについて

(学校教育課長)

- ・平成30年度沼田市児童生徒学校保健活動発表会について

- ・平成30年度中体連新人大会結果について

(社会教育課長)

- ・第20回柳波賞の入賞者について
- ・第15回おのちゅうこう『ふるさと文学賞』の入賞者について
- ・第28回全国ふきわれ俳句大会の入賞者について
- ・第51回沼田市上毛かるた大会について

(文化財保護課長)

- ・沼田市歴史資料館常設展示室の展示計画について
- ・平成30年度沼田市文化財展新収蔵資料展について

(スポーツ振興課長)

- ・各種大会結果について

(平形委員)

教職員の人事が始まったということだが、幼稚園は子どもの数が減っている
ので、何か策を講じる必要があるのではないか。

(教育長)

幼稚園については、榛名幼稚園、利南東幼稚園、池田幼稚園が平成32年に、
利南幼稚園、薄根幼稚園が平成38年に廃園という市としての方針が決まっ
ている。

(学校教育課長)

今年度から幼稚園では、預かり保育を実施している。当初、全体で1,800
時間程度を見込んでいたが、保護者からのニーズも高まっており、時間数
を増やす検討をしている。

(中村委員)

預かり保育を18時まで実施することが難しい理由を教えてください。

(学校教育課長)

預かり保育の実施、その後の事務となると現状の職員数では対応が難しい。

(星野委員)

先日、池田幼稚園を見させていただいたが、民間委託や指定管理等、何か活
用できないかと感じた。

(学校教育課長)

以前、学童保育の利用が検討されたことはあるが、その後、話は進んでいな
い。

(中村委員)

上毛かるた大会は、町内対抗なのか。町内に子どもが一人しかいない場合、
出場できるのか。

(社会教育課長)

例えば、高橋場町、馬喰町のように地区単位でのチーム編成になる。したが

って、子どもが一人しかいない地区では、個人戦への参加ということになる。

(星野委員)

柳波賞について、広く公募しているというなかで、市内の小中学生の入賞者が多いが、特別な理由はあるのか。

(社会教育課長)

特別な理由はなく、市内小中学生の応募数が多かったため、入賞者が多かったと考えている。

(平形委員)

昨年、柳波賞表彰式に参加したところ、遠方からの受賞者の参加があったが、旅費はどうなっているのか。

(社会教育課長)

柳波賞と優秀賞の受賞者のみ、市で旅費を負担している。

11 閉会宣言（午後 2 時 2 5 分）